

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度 第12回ハイブリッド開催定時理事会報告

日 時：令和8年2月12日(木) 13時～16時30分

場 所：JSOS ビル 3F 会議室 5 及び Zoom

出席者：【理事】町田幸男、廣川健太郎、畑中渉、望月啓治、赤尾浩一、小田部拓、
(欠席)石井昭彦、吉田春彦、中橋沙羅、星一男、石田英行、武田豊明、原勇
人、下村真一、蛭田伸一、野村善弥、古賀英年、前田善彦、安井博志、小高
令子、栗田季慎子(第6号議案から参加)、中島隆之、(欠席)平田伸也、奥
井健吾(第6号議案から退室)、藤江理枝、(欠席)西原斗司男

理事出席者 23名 欠席者 3名

【監事】古屋寿隆、佐久間務

監事出席者 2名

1. 開会

2. 会長挨拶

過日、BJCが無事終了し、この土日に佐賀県でSJCを開催する。SKIMO競技では、
明日から富山県宇奈月で日本選手権を開催するが、ミラノコルティナ冬季オリンピ
ックは2月19日と21日に同競技のテレビ放映が予定されているのでご覧いただ
きたい。本日も円滑な議事進行をお願いする。

3. 会議成立状況報告

理事数 26名中23名出席(通し出席21名 途中入・退席2名)

監事数 2名中 2名出席

(定款第33条、定足数=14名(過半数以上))

4. 議長選出 会長が議長をつとめる(定款第32条)

5. 議事録署名人 会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題

議案第1号 前回理事会議事録の承認について

すでに、内容の確認は完了しており以下のとおり承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 21名

議案第2号 公認申請のあったSC大会の承認について

望月専務理事が配布済資料を基に、公認申請のあった「母恵夢カップ第6回

スピードスターズ選手権大会」、「第6回千葉カップスピード競技」の大会について説明し、SC普及委員会で審査済であることを補足し、以下のように承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

議案第3号 UIAAの4委員会への委員候補の推薦について

望月専務理事が配布済資料を基に、前回理事会において小高令子氏がMountain Protection、溝手康史氏がLegal Affair、青山千彰氏がTrainingの3名を各委員へ推薦することを決定したことに加え、今般新たにUIAAからYouth Commissionへの委員候補推薦の要請があり、UIAA委員会で審議した結果、前田善彦氏を推薦する案が示されたことを説明した。また、4名を推薦する必要書類が全て揃ったことを説明し、これらを踏まえ審議したところ以下のように承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

議案第4号 国スポリード競技における2ルートでの実施方法について

原理事が配布済資料を基に国スポ委員会で検討した案を説明した。本来4ルートで実施する競技を何とか2ルート実施するよう収める場合、①競技時間が9時間以上となること、②種別ごとのルートで競技すべきところをルートセットの時間がないため別の種別が使い回すことになること、という制約について説明し、審議したところ以下のように承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

議案第5号 SKIM02026-27 強化選手選考規定及び海外大会派遣選手選考規定の変更について

小田部理事が配布資料を基に次のシーズンからユースワールドカップがはじまりU18(18歳以下)の年代を分ける必要があることを説明し、以下のように承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

議案第6号 WCP ワールドカップ 2027 について

畑中副会長(SC部長)が、2027年4月に東京においてボルダーワールドカップの開催案があることを説明した。本大会は、IFSCとIFSCが関係するS社が幹事となる実行委員会が主催となり、JMSCAは主管となる枠組みであり、赤字となった場合の財務リスクはJMSCAにはないこと、開催する前提の補助金申請や会場確保については、JMSCAが実施する必要があることなどを説明した。これらを踏まえ、補助金申請等の行為をして良いか承認を求めたところ以下のように承認された、

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

議案第7号 2026年度「JOC国際人養成アカデミー」受講者の募集について
望月専務理事が配布済資料を基に説明した。当プログラムの趣旨や内容に関する説明会が2月13日にあり赤尾事務局長が参加の上、SCやSKIMOの関係者へ伝達したのち対応を検討することになった。(連絡事項として処理)

議案第8号 主要スポーツライミング競技会プロデューサーの公募について
望月専務理事が、本年6月から来年5月までのBJC等SC主要8大会の開催及び準備を行う事業統括者(プロデューサー)の公募要領案を説明した。応募者がJMCAの委員会に属している場合など利益相反の恐れに関しては、書類審査を踏まえ次回以降の理事会で審議することとし、速やかに募集の開始について諮ったところ以下のように承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

7. 報告

報告第1号 1月末時点の収支・キャッシュフローの状況及び令和7年度収支決算の見通しについて

望月専務理事が、配布済資料を基に説明した。1月度の支出減、4、5月までの支払い延長、BJC入場料の収入増により、3月末の資金繰りがやや楽になったが、収支については楽観視できないことを報告した。

報告第2号 SCコーチの認定について

望月専務理事が常務理事会で以下のとおり承認されたことを報告した。

*沖縄会場 コーチ18名受講 合格8名

①井田 浩彰 ②瀧田 楓 ③田中 なぎさ ④牧志 友介 ⑤金城 和幸
⑥儀間 太輔 ⑦新城 昌輝 ⑧市来 由樹子

報告第3号 ACコーチ1及び2、夏山リーダーの認定について

望月専務理事が常務理事会で以下のとおり承認されたことを報告した。

*夏山リーダー 神奈川県山岳連盟

①福島 浩二 ②高島 正徳 ③原理 佐 ④高橋 潤一 ⑤佐野 慶枝 ⑥山口 太郎
⑦鈴木 芳枝 ⑧仁藤 安久 ⑨曾我 豪仁 ⑩細田 剛 ⑪奥田 綾香

*コーチ2 JMCA 登山部 指導委員会

①船戸 亜紀(埼玉)②神保 敦子(長野)③高岡 俊英(千葉)④菊地 仁美(東京)
⑤益戸 隆二(滋賀)

*コーチ1 岩手県山岳・スポーツライミング協会

①浅沼 省三 ②鎌田 篤

*コーチ 1 福島県山岳・スポーツクライミング連盟

①比佐 一枝 ②工藤 慎大 ③根本 誠司 ④三浦 幸浩

*コーチ 1 大阪府山岳連盟

①荻田 進一 ②大辻 直史 ③須田 由紀子

*コーチ 1 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

①大下 真弓 ②高橋 和仁 ③細田 悦朗 ④米原 啓太

*コーチ 1 東京都山岳連盟

①小野 学 ②鹿内 亮子 ③中嶋 あきみ ④三田 英樹 ⑤八重樫 崇

⑥山本 宣仁 ⑦河合 千鶴子 ⑧鋳物 美佳

報告第 4 号 後援名義使用承認について

望月専務理事が配布済資料を基に、「第 52 回大阪府チャレンジ登山大会」、「パラクライミング体験会」の 2 件について、常務理事会で承認されたことを報告した。

報告第 5 号 海外登山奨励金（後期）選考の承認について

廣川副会長（登山部長）が 4 隊の申請のうち、次の 3 隊が選考された経緯を説明し、常務理事会で承認されたことを報告した。

・【パキスタン・Giri Giri-Boys K7 Expedition 2026 隊】

目的：チャラクサ谷 K7 主峰南西稜から未踏の中央峰への継続登攀を狙う。

・【パキスタン・Giri Giri BOYS KOZ SAR EXPEDITION 2026 隊】

目的：Koz Sar 南壁の未登のビックウォール初登攀と山頂を狙う。

・【Kyrgyzstan・Mt Parus 遠征隊 2026】

目的：登攀記録も少なく、日本人もほとんど訪れたことのないキルギスの Ak-su , Kara-su , Ashat の 3 溪谷を訪れ、新ルートのビッグウォール開拓を行い、エリアの細かい情報を持ち帰る。成功すれば世界的な成果となり、日本人クライマーへの還元につながる。

報告第 6 号 インド山岳連盟から SC 選手の招へい依頼への対応について

望月専務理事が、インド山岳連盟から日本で短期の SC 強化練習を希望する 6 名の身元保証書が発行され、JMSCA 指定の様式に必要事項が記入されてきたため、Invitation Letter の発行を常務理事会が承認したことを報告した。

報告第 7 号 委員長の交代について（登山部国際 AC 委員会、SC 部強化委員会）

望月専務理事が、新たな登山部国際 AC 委員長として鈴木百合子氏が、また SC 強化委員長として佐藤豊氏が本年 2 月から就任することについて、常務理事会で承認されたことを報告した。

- 報告第 8 号 選手強化スタッフへのコーポレートカード発行について
望月専務理事が、配布資料を基に、SC 強化委員会から 4 名のコーポレートカード発行申請が出ていること、使用限度金額について、別途 SC 強化委員会と事務局で調整することを前提に、常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第 9 号 3 月 8 日世界国際女性デーに関連した寄附について
望月専務理事が配布資料を基に、あるスポーツ用品メーカーが実施するクライミングイベントで募る募金（15 万円程度）の寄付の申し出があり、常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第 10 号 業務執行理事による業務執行報告について
一部資料に不揃いがあり、速やかに揃えて閲覧に供することとした。
- 報告第 11 号 事務局と委員会との業務分担について
望月専務理事が、事務局から SC 技術委員会へ業務分担の相談をした内容について、技術委員会からの返答とその後の経緯を説明した。畑中副会長、奥井理事が対応することになった。
- 報告第 12 号 オリンピック等国際競技大会出場資格管理について
望月専務理事が JOC から発せられた注意喚起の文書について説明した。
- 報告第 13 号 第 20 回アジア競技大会（名古屋）の準備進捗等について
望月専務理事が、2 月 6 日に JOC が開催した会議において準備進捗に懸念があることの報告をした。星理事から今後も理事会において進捗管理を取り上げてもらいたい旨の申し出があった。
- 報告第 14 号 第 6 回アジアビーチゲームズ 2026 への選手派遣について
望月専務理事が配布資料をもとに、本年 4 月に中国で開催されるアジアビーチゲームズに SC 選手 8 名と、コーチ 2 名、トレーナー 1 名を派遣することについて、常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第 15 号 TOKYO ジュニアスポーツアンバサダーについて
望月専務理事が、都岳連からの要請で JMCA として推薦する 4 名の選手について常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第 16 号 今後の役員派遣ほか渉外等について(2 月後半～3 月)
資料を基に望月専務理事が報告した。

8. その他

- ・事業実績報告書及び事業計画書の記載形式について

望月専務理事が、今後、委員会毎、事業毎に羅列する形式とし、予算との照合がしやすいように変更したい旨説明した。

- ・規程類の整理について

廣川副会長から今後実施していく旨の説明をした。

- ・2025 年度全日本オリエンテーリング選手権大会における遭難死亡事故報告書

委員として参加した町田会長から報告があった。

令和8年2月12日（木）

赤尾浩一